

家庭教育力の強化を図る

学校・家庭・地域が連携したPTA活動

扶桑町立扶桑東小学校PTA

1 はじめに

昭和54年創立、本年度45年目を迎える本校は、名鉄犬山線の扶桑駅周辺ならびに同駅の東部地域が校区である。かつては桑畑が多く見られたが、現在では住宅が建ち並び、ベッドタウンとしての様相を濃くしている。PTA会員は262世帯で、比較的小規模であるが、学校教育活動に対する関心度は高く、協力的である。



【扶桑東小学校全景】

愛知県の北西部にあたり、濃尾平野の北部を占める扶桑町は、木曾川の流れによってできた犬山扇状地の扇頂近くの町である。中部圏の中心である名古屋市から北に約20kmで、利便性の高さから名古屋市のベッドタウンとして発展し続けている。人口も、町制70年の節目にあたる令和4年には3万5,000人に到達した。世界一長い大根としてギネス世界記録に認定された守口大根を代表とする農作物が育てられている広い農耕地や、国や県の指定有形文化財である寺社・古墳が現存する、緑豊かで歴史文化の薫る町である一方、令和5年4月には児童センター「ひまわり」が開設され、子育て支援へのサポートも高まってきている。

2 研究への取組

(1) 研究のねらい

地域とともにある学校として、地域とともに子どもを育てていくというのが、本校の学校教育目標である。さらに、家庭・地域とともに「人と豊かに関わる人間関係づくり」ができる場をつくるために、PTA活動とともに、学校を支えるボランティア組織『のびっ子育て隊』を充実させ、地域ぐるみでの家庭教育力の強化を目指した。

(2) PTAの組織

PTA総会——役員・実行委員会——各専門委員会

〈役員〉

会長1名 副会長2名 書記3名 会計2名 会計監査2名

〈実行委員〉

6地区から1名ずつの6名

〈専門委員会〉

総務広報・地域安全・環境美化・保健厚生委員会の4つ

3 実践活動の概要

(1) 全体事業活動

① あいさつ運動

毎月初めの3日間、2か所の校門に教員とあいさつボランティアが立って展開する。

② 「こども110番の家」依頼・確認活動

毎年5～6月中に、各地区委員が回って行く（令和5年度149件）。

③ 「のびっ子育成隊」募集活動

常時活動。

(2) 各委員会の活動内容

委員会名	主な活動内容
総務広報委員会	広報・啓発活動
地域安全委員会	交通安全・危険防止・校外指導への支援・協力
環境美化委員会	学校内外の環境整備
保健厚生委員会	保健衛生、研修・福利厚生企画

(3) 主な活動の紹介

① 「のびっ子育成隊」

〈組織〉

- ・スクールガード・見守り隊（33名）
- ・読み語り隊（23名）
- ・学習支援隊（11名）
- ・学校環境支援隊（3名）

〈活動〉

スクールガード・見守り隊は、毎日の児童の登下校時における通学班への付き添いや、交通量の多い交差点等に立って誘導等を行っている。毎日の活動に加え、危険箇所交通整備等への情報交換を適宜行い、行政や警察機関等への改善要望の一役を担っている。

読み語り隊は、年間30回程度、火曜日の朝活動の時間に全学級で絵本の読み聞かせを行う。また、年1回、体育館のステージで全校児童対象に、創作舞台劇を催している。

学習支援隊や学校環境支援隊は、学習課題や学校環境状況に応じて活動や支援を行っている。

どの活動も、継続的かつ系統的に学



【読み語り隊：読み聞かせ】



【学習支援隊：ミシン学習支援】

校と家庭・地域とが連携して行われているとともに、参加している方の高いボランティア意識の下で進められている。

② 学校保健委員会【年2回】

学校と家庭・地域の関係機関との連携により、子どもたちの健康課題を研究協議し、健康づくり活動を推進している。

・第1回≪8月17日≫

○テーマ：子の健やかな成長を願って、今、取り組みたいこと

○内容：定期健康診断の結果から、児童の健康課題を考え、今後の健康づくり活動の方向性を探る。

学校医・歯科医・薬剤師を招き、PTA役員と保健厚生委員、学校職員とで、座談会形式で行った。

診断や高学年児童の生活習慣アンケートの結果を踏まえて意見交換を行ったことで、本校児童の健康面における実態把握が的確になされた。さらに、課題をその背景にある生活実態に重ね合わせることで、改善の方向性も確認し合えた。30名ほどの人数構成で行ったことで参加者全員から、自身の体験や、現在の生活上の不安などが語られ、身近な問題として課題に向き合うことができた会となった。

・第2回≪10月19日≫

○テーマ：ぐっすり睡眠で元気アップ～見直そう 自分の生活習慣～

○内容：生活習慣アンケートの結果から、睡眠時間に特化した課題を明確にし、睡眠時間の重要性の理解の推進を図る。

愛知東邦大学の吉村道孝先生をお招きし、睡眠時間や質のよい睡眠が影響する日常生活についての講話に5年生児童とPTA役員・保健厚生委員、希望保護者、学校運営協働協議会委員、職員が参加した。

小学校児童が安定した生活を送るために必要な9～11時間の睡眠時間や、関連する脳の成長や朝食摂取の大切さなど、児童や保護者、地域の方々も、時折感嘆の声を挙げながら聞き入った。



【第2回学校保健委員会】

③ 就学時健康診断時の教育講演会

次年度の入学予定児童と保護者を対象に、町教育委員会から委嘱を受けて児童の健康診断を毎年10月に行っている。児童への健康診断が行われている間の1時間余り、保護者は体育館において就学に関する説明を受けるとともに、就学前の児童の子育てへの一助となる教育講演会を聴いている。

今年度は、扶桑町学校教育課のスクールソーシャルワーカー（以下SSWr）による「これから始まる学校ライフに向けて」と、栄養教諭による「食育の話」と題した二つの講話であった。SSWrからは、これまでの乳幼児期を振り返りながら親子の愛着の絆を培ってきていることや、安心して入学を迎えるために家庭で大切にしたいことなどの話がされた。栄養教諭からは、1日3食摂取の重要性や、食べることが体や脳の成長に関係するだけではなく、学力にまで影響する話などがされた。



【就学時健康診断：教育講演会】

小学校入学までのおよそ6か月の間に、大切にしてほしいことをそれぞれの視点で分かりやすくお話しされたこともあり、うなずきながらメモを取る姿が多く見られた。

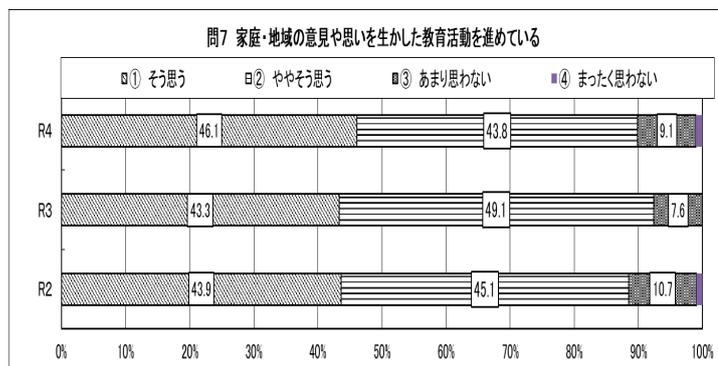
昨年度は、子どもをトラブルから守るために「スマホ・ケータイ安全教室」を行うなど、毎年、小学生の生活実態や実情に即したテーマの講演会を行うことを通じて、親子ともにさまざまなことに挑戦したり、困難を乗り越えたりする力を身に付けていくことにつなげていけるようにしている。

④ 今後の活動

例年、校外で行っていたPTA研修活動は、コロナ禍の影響により昨年度までは中止されていた。今年度は、会員の声に傾聴し、かつ家庭教育力の強化を図ることを目的として『ネットやゲーム依存から子どもを守るために家庭でできる関わりについて』と題して、スクールカウンセラーによる講話とワークショップを、全会員対象に令和6年1月に行う予定である。

4 おわりに

本校PTAは、これまで家庭・地域が学校と連携してさまざまな活動を行ってきた。また、地域や外部の方とのつながりを持ちながら、家庭教育力を高めていくことに努めてきた。右表の学校評価アンケート結果が示すように、それらの連携に対する評価は毎年9割に上っている。



【学校評価アンケート：家庭・地域との連携】

今後も、地域の教育資源を発掘、活用しながら、学校・家庭・地域が一体となって、児童の健全育成のためにPTA活動を充実させていきたいと考える。